

第4回 プラットフォームエコノミクス研究会 議事要旨

日時：令和3年10月26日（火）9時00分～11時00分

場所：オンライン開催

出席者

メンバー：依田委員、市橋委員、大木委員、黒田委員、善如委員、土居委員

ゲスト：石原章史氏(東京大学社会科学研究所) 若森直樹氏(東京大学大学院経済学研究科) 他

オブザーバー：関係省庁

議事概要

1. プラットフォーム市場におけるマルチホーミング実態調査報告（大木委員）

- ・ 大木委員より、消費者が複数のプラットフォームを利用するマルチホーミングの実態の把握・分析に関する研究の成果について、報告が行われた。
- ・ 報告内容の概要は以下のとおり。
 - 消費者のマルチホーミングは競争を促進することが多く、マルチホーミングの有無はプラットフォーム企業の市場支配力を測るうえでも重要な意味を持つ。
 - 他方、既存統計ではマルチホーミングの実態について把握できず、重要な特性を見落とす可能性がある。このため、既存のデータでは把握が難しかったプラットフォームにおけるマルチホーミングの実態を、2020年に消費者Webアンケートにより調査。
 - ◇ 消費者に対するWebアンケートを通じて、販売型プラットフォームとマッチング型プラットフォームにおける消費者のホーミングパターンが明らかになった。
 - ◇ マルチホーミングされているプラットフォームについては、分野横断的な事業展開によりエコシステムを形成しているプラットフォームもあり、消費者が特定企業のエコシステムに取り込まれている可能性が考えられる。
 - ◇ 上記の点について分析を行った結果、ある企業のエコシステム内で利用するサービスの数が多いほど、同一エコシステム内のサービスを通じて旅行予約をする確率が有意に高い傾向にあり、その他の社会経済属性はあまり影響を与えていないことが把握された。
- ・ その後、今後の研究において着目すべき点やさらに分析が期待される点等についての議論が行われた。

2. デジタルプラットフォーム利用事業者向けアンケート案についての意見交換

- ・ 事務局から、デジタルプラットフォーム利用事業者向けのアンケート案についての説明が行われた後、その他に追加すべき設問等について議論が行われた。

お問合せ先

商務情報政策 情報経済課 デジタル取引環境整備室

電話：03-3501-0397

FAX：03-3501-6639